



<向陽ミュージアム展示パネルより>

設立期 1924年～1944年

大正13年 「大村裁縫女学校」 設立 大野 晩成 初代校長就任
 大正14年 「大村女子職業学校」と改称・認可、師範科設置
 昭和11年 「大村女子職業学校」 烏山 武 設立者となる
 黒田 清三郎 第2代校長就任
 昭和20年 烏山 武 第3代校長就任
 ※女子就学率の低い戦前の教育に、「女子教育」の道を拓く。
 ※教育の充実を図り、善良な家庭婦人や職業婦人を育成。



設立者
烏山 武先生



第2代校長
黒田 清三郎



烏山 ヒテコ先生



昭和13年頃の職員



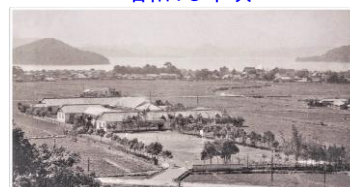
大正13年設立地付近(S5年頃)



昭和5年頃(現:西三城)



昭和10年頃



昭和15年頃



昭和17年頃

大村女子職業学校の「就学状況」

●昭和16年国民学校令公布までは今の義務教育制度(小・中学)がなかった。その時代に女子教育の道を拓いた。昭和11年の統計: 高等小学校(12歳～)に進学する生徒は66%程度。



本科: 12歳～4年制
 家政科: 12歳～1年制



師範科、専攻科: 16歳～1年制
 教員養成科: 16歳～2年制
 高等師範科: 16歳～3年制

大村女子職業学校「本科生の授業」



洋裁(当時まだミシンは珍しかった)、籠球、和裁



玖島崎海水浴場で水泳

収穫、農作業、運動場整備